

令和6年度における平塚市総合計画の取組状況の総括

1 概要

総合計画実施計画事業については、全体最適の視点から戦略・施策単位での行政評価を実施し、計画の着実な推進を図ることとしています。この度、令和6年度版実施計画に掲げる194事業が終了したため、令和6年度の取組状況をまとめました。

重点戦略・分野別施策に掲げた指標について、66.9%の指標（全127指標中85指標）において、令和6年度に到達が期待される値（以下、「期待値¹」という。）を上回りました。

2 重点戦略における指標の集計結果

数値目標について、実績値が期待値を上回ったものは、全16指標中11指標（68.8%）でした。

重要業績評価指標（KPI）について、実績値が期待値を上回ったものは、全36指標中25指標（69.4%）でした。

重点戦略	数値目標			重要業績評価指標（KPI）		
	指標数	令和6年度 実績値と期待値の比較 ²		指標数	令和6年度 実績値と期待値の比較 ²	
		上回る	下回る		上回る	下回る
1 子どもを育む環境づくり	4 (1)	2	1	9	6	3
2 活気あふれる産業づくり	5	4	1	9	9	0
3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり	4	2	2	9	5	4
4 安心・安全で快適なまちづくり	4	3	1	9	5	4
計	17 (1)	11	5	36	25	11

1 期待値

計画策定時の実績値から令和9年度の目標値へ向けて、均等に値が推移すると仮定した場合、令和6年度に到達が期待される値

2 進捗状況

「上回る」・・・令和6年度の期待値と比較して、実績値が上位に位置している。

「下回る」・・・令和6年度の期待値と比較して、実績値が下位に位置している。

3（）内の数値は、令和6年度の実績値が算出できない指標の数であり、評価対象外としています。
評価対象外の指標・・・「育児・子育ては、夫婦と同じくらい分担していると回答した割合」

3 分野別施策における指標の集計結果

成果指標について、実績値が期待値を上回ったものは、全 75 指標中 49 指標 (65.3%) でした。

分野	成果指標		
	指標数	令和 6 年度 実績値と 期待値の比較 ²	
		上回る	下回る
1 子ども・子育て、教育	11	6	5
2 健康、福祉	11	4	7
3 共生、文化芸術、スポーツ	13	8	5
4 安心・安全、都市基盤、交通	21	14	7
5 産業、雇用、環境	19	17	2
計	75	49	26

(参考) 分野別施策における決算見込額の集計結果 (令和 6 年度)

分野	対象事業数	決算見込額 (千円)
1 子ども・子育て、教育	50	11,206,968
2 健康、福祉	35	8,283,789
3 共生、文化芸術、スポーツ	27	722,082
4 安心・安全、都市基盤、交通	45	2,621,502
5 産業、雇用、環境	37	2,418,747
計	194	25,253,088

4 DX（デジタル化）・GX（脱炭素化）の取組結果

（1）DX（デジタル化）の取組

幅広い業種の中小企業に対して、デジタル技術の活用促進に向けた専門家派遣や導入経費の助成を行うとともに、介護事業所や保育所等における業務のデジタル化支援に取り組むなど、様々な産業のスマート化を進めました。また、火災時や災害時の建物や土砂災害の崩落現場において、更なる崩落の危険を感知する崩落監視システムを導入するなど、デジタル技術を活用し、便利で快適に暮らせる社会づくりとセキュリティを高める取組を進めました。

（2）GX（脱炭素化）の取組

ツインシティ大神地区において太陽光パネルの設置など、再生可能エネルギーの導入を促進したほか、市民に対しては、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の導入支援に、事業者に対しては、脱炭素設備投資促進補助金の交付や脱炭素・省エネアドバイザーの派遣を行いました。また、市は率先して、公共施設の照明LED化や、カーボンフリー電力の調達に取り組み、市民、事業者、市が一体となって、脱炭素化を進めました。

5 結果補足

（1）重点戦略

- ・重点戦略の数値目標と重要業績評価指標（KPI）について、実績値が期待値を上回ったものは、全 52 指標中 36 指標(69.2%)でした。
- ・全ての重点戦略において、「期待値を下回る」より「期待値を上回る」が多くなっており、「重点戦略2 活気あふれる産業づくり」の重要業績評価指標（KPI）では全項目が「期待値を上回る」となりました。

（2）分野別施策

- ・分野別施策の成果指標について、実績値が期待値を上回ったものは、全 75 指標中 49 指標(65.3%)でした。
- ・分野毎にみると、「2 健康、福祉」以外の分野において、「期待値を下回る」より「期待値を上回る」が多くなっており、「5 産業、雇用、環境」では 19 項目中 17 の項目で「期待値を上回る」となりました。

6 総評・今後の対応

「平塚市総合計画～ひらつかVISION～」の初年度の行政評価において、重点戦略・分野別施策の指標は、期待値ベースでは全体的に順調に推移していますが、分野毎で確認すると、「2 健康、福祉」が期待値を下回っており、施策・事業の更なる推進が必要です。

10年連続の転入超過に加え、令和6年度に実施した市民意識調査では本市に住み続けたいという前向きな回答が8割強(84.2%)で、引き続き高い水準を維持しています。今後もこの流れが続くよう、時代の流れ、ニーズに即して、持続可能なまちづくりを進めるとともに、将来の妊娠・出産に繋がる若い世代の希望をかなえる総合支援策の推進や、いつまでも住み慣れた地域で暮らすための支援など、人口減少社会における対応を本格的に進めていきます。